

公共交通を核とした「誰もが住み続けられるまち」実現事業(茨城県境町)

まちづくり×交通

事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】
河岸のまちさかいまちづくりプラットフォーム
- 【実施主体】茨城県境町（自治体）
- 【共創パートナー】さかいまちづくり公社（まちづくり）
株式会社セネック（交通）
BOLDLY株式会社（交通）

地域課題

高齢者や部活、塾等の送迎に負担を抱える子育て世帯等、本町の交通空白地域における交通弱者が多い。

実証事業の内容

- 事業立ち上げ及びに向けた取り組み及び持続可能な事業とするための体制構築に向けた取り組み。
- オンデマンドバスの運行および体制構築。
- オンデマンドバス運行により生じる経済効果を着実に取り込むための取組、持続可能な事業とするための取り組み。

今後の展開

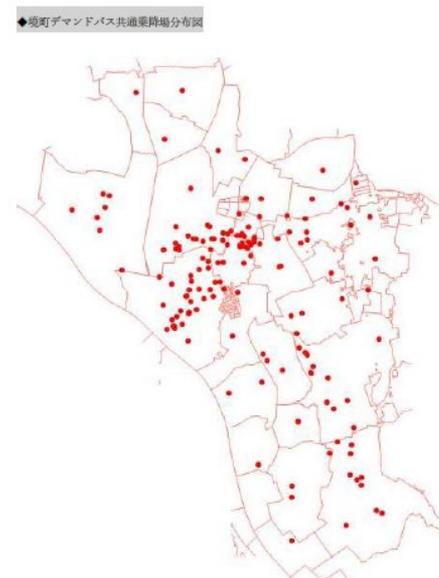
まちづくり公社・商工会を通じて地元商店等などにオンデマンドバス停の増設を行い、その対価として事業への協力費を支援してもらうことや、オンデマンドバスでの期間限定ラッピングや車内広告を可能とし、掲出料を徴収するなどの制度を整備することで、地域一体となった事業運営体制を構築する。また、ふるさと納税や企業版ふるさと納税での支援を広く働きかける。

事業実施区域

茨城県境町の全域
長田、静、猿島、森戸
小学校区を出発点

交通結節点（高速バス
停、道の駅さかいな
ど）を目的地

※地図：当町作成白地図



事業体制

